

## とりまとめの構成案

### 1. はじめに

- ・ **共助による地域づくりの意義**  
人口減少・超高齢化の進展、厳しい財政状況、多様化・複雑化する地域課題等に対し、地域の特性に応じた多様な処方箋の提供し、課題解決を推進するための原動力
- ・ **共助による地域づくりの国土計画上の位置づけ**  
四全総から現行計画までの「多様な主体の参加による地域づくり」の系譜
- ・ **検討の趣旨**  
新たな取組（アプローチ）に対する評価と課題解決に向けた提案

### 2. 現状と課題

- ・ **共助による地域づくりを支える担い手の役割**  
地域住民（主役）、地縁組織、NPO、企業、地域金融機関、大学、行政
- ・ **共助による地域づくりの課題**  
地域資源の発掘・活用、人材・ノウハウの確保、持続的な資金の確保

### 3. 新たな取組（アプローチ）とその評価

- ・ **地域資源の発掘・活用**  
空き家活用、過疎地域の自家用有償旅客運送、公共物（公園、公共スペース）、特産物子育てシェア、異世代シェアハウス
- ・ **人材・ノウハウの確保**  
地域内での人材の育成・確保（中間支援組織、大学、子育てシェア）  
地域外からの人材・ノウハウの移転（逆参勤交代、企業 CSR、オープンイノベーション、ベンチャーフィランソロピー、二地域居住・二地域就労）
- ・ **持続的な資金の確保**  
寄付型の資金調達（クラウドファンディング、住民出資、ベンチャーフィランソロピー）  
収益還元・地域循環型の資金調達（収益源の確保、エネルギー公益事業体）  
ソーシャルインパクトボンド＝公的支援のインセンティブ（東近江市、清滝団地）

### 4. 課題解決に向けたアプローチの提案（3. の総括）

### 5. おわりに